

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 一宮市立千秋小学校
 種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒491-0804
一宮市千秋町佐野字北浦136番地
 E-mail : tiaki-e@city.ichinomiya.aichi.jp/~tiaki-e/
 Website : http://www.school.city.ichinomiya.aichi.jp/~tiaki-e/
 児童生徒数：男子 218名 女子 205名 合計 423名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域の産業・人とのつながり）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校の教育目標は「健康で、自ら学ぶ、心豊かな千秋っ子の育成」である。

めざす児童像として、「自ら学び考える子(知育)、明るく思いやりのある子(徳育)、健康でたくましい子(体育)」の育成を掲げている。「花いっぱい・友だちいっぱい・夢いっぱい」を合い言葉に、ESDの視点から「地域を愛し、地域にすすんで働きかける子」の育成を目指している。

1年間の活動の様子を①地域の産業や文化、環境についての学習、②地域の方と触れ合う活動、③地域に働きかける活動、④地域に情報を発信する活動の4つの観点から報告する。

<1年間の活動内容>

5月	4～6年:クラブ活動(通年) 3年:トンボ教室(総合)、ヤゴの救出(総合)
6月	1年:サツマイモ栽培(生活) 2年:町探検(生活)、野菜栽培(生活) 4年:ツルレイシ栽培(理科)、資源回収(総合) 5年:メダカ教室(理科)、田植え(総合) 全校:国際交流(生活・総合)
7月	6年:浮野古戦場跡見学(社会)
9月	1・2年:生き物となかよし(生活) 3年:ねぎ定植(総合) 全校:千秋音頭(音楽)
10月	2年:福祉施設訪問(生活) 5年:米の収穫(総合) 1・2年:生活ビンゴ(生活)
11月	1年:サツマイモ収穫・パーティー(生活) 4年:資源回収(総合) 全校:ごみゼロ活動(行事)、学習発表会(総合) 6年:シイタケの収穫(総合)
1月	4年:資源回収(総合) 4年:石ころアート(図工)
2月	6年:生き物と環境教室(総合)
3月	3年:ネギ収穫・ねぎ焼きパーティー(総合) 5年:祝い餅づくり(総合)

① 地域の産業や文化、環境についての学習

(特産物栽培・町探検・浮野古戦場址見学・千秋音頭・特別授業等)

【活動のめあて】地域の伝統的な良さや歴史的な重み、環境の大切さに気付かせ、文化や伝統、環境への理解を深める。

<千秋ねぎの栽培>

3年生は、「千秋ねぎの栽培」を学習した。千秋で以前から行われていた「ねぎの栽培」に目を向けさせ、地域の特性を知り、体験をすることで、農業を肌で感じとることができた。

地域の特産物「千秋ねぎ」が育つまでには、いろいろな世話が必要であり、その過程を地域の方とふれあいながら学ぶことができた。そして、収穫したねぎを使って、講師の方へのお礼も兼ねて、一緒にねぎ焼きパーティーを楽しんだ。



5月に千秋ねぎの定植方法を教えていただき、9月には、実際に定植しました。

<浮野古戦場跡見学>

6年生は、地域の歴史学習として、浮野古戦場について学んだ。地域の方から、千秋町で織田信長が戦をしたという話を聞いて、子どもたちはとても驚いていた。様々な話を聞く中で、昔の出来事に思いを馳せたようである。



地域の保存会の方々が、浮野古戦場の様子やそれにまつわる話を熱心にしてくださいました。子どもたちは興味を持って話を聞いていました。

<千秋音頭>

全校児童が、地域の保存会の方に踊り方を教えていただいた。運動会では、保存会の方から教えていただいたことを子どもが保護者に伝え、親子一緒に千秋音頭を踊った。毎年の積み重ねで、年々うまく踊れるようになった。



地域の名前がついた『千秋音頭』を教えていただき、これからも大切に守っていきたいと話す子がいました。

② 地域の方と触れ合う活動

(クラブ活動・福祉施設訪問等)

【活動のめあて】地域の方と触れ合い、地域の良さや温かさに気付かせ、郷土に愛着がもてるようにする。

<クラブ活動>

本校のクラブ活動の多くは、地域の方がゲストティーチャーとして来校し、指導して下さる。4年生、5年生、6年生の児童が希望したクラブに参加している。地域の方が来てくださったクラブには、次のようなものがあった。

バドミントン・テニス・グラウンドゴルフ・ゲートボール
英語・手話・囲碁・お茶・お花

地域の方から、日本の伝統文化を学んだりスポーツや趣味につながる活動を教えていただいたりと、視野を広げ将来の活躍の場を見つけるのに役立つものが中心である。普段、体験することができないことにも挑戦することができ、児童が生き生きとしている姿があちこちで見られた。



グラウンドゴルフでは、打ち方を一人一人に優しく教えていただきました。

お茶クラブでは、生花や掛け軸を飾り、作法を丁寧に教えていただきました。

お花クラブでは、花を生ける時のポイントを分かりやすく教えていただきました。

③ 地域に働きかける活動

(資源回収・ごみゼロ・緑化活動等)

【活動のめあて】保護者や地域の方々とともに環境を守る活動を行い、将来にわたり地域の環境を大切に守り続けることができる。

<資源回収>

年に3回、早朝から各町内でPTAの方々による資源回収を行った。4年生は、総合的な学習の時間の環境学習の一環として、資源の分別の手伝いをした。資源回収で分かったことや困ったことなどを話し合い、よりよい資源の生かし方について考えることができた。



保護者や地域の方と話したり、働いたりしながら、資源を分別することの大切さを学びました。

<FBC・緑化活動>

学校の自慢となる一人一鉢運動などの緑化活動やFBC（フラワーブラボーコンクール）活動に熱心に取り組んだ。地域の方や保護者のボランティアにも協力していただき、種から花を育てたり、あじさいロードやオレンジロード、ドングリロードなどの整備をしたりした。校庭の中心にあるメイン花壇の花の配置は、児童から募集し、選ばれたものである。毎年、自分の作った設計図通りに花壇の花が咲くことを楽しみにしている子が多い。



千秋小学校の校庭の様子は、季節ごとに変化します。色彩豊かで、実のなる木が多い学校は、児童の自慢の場所です。友達や人とのつながりも、ここで育まれています。

④ 地域に情報を発信する活動

(学習発表会・地域だより・学校新聞・ホームページ等)

『活動のめあて』保護者、地域住民に地域学習の成果を発表し、地域の誇りと愛着を育むことができる。

<学習発表会>

11月には、学習発表会を実施した。

保護者とともに地域の方々に参観していただき、群読、総合学習の発表、合唱、劇など学校で学んだことを地域の方に伝えた。児童の学びの様子を広く知っていただく良い機会となった。



会場にいる方々に、しっかり声が届くように、一生懸命発表しました。

<ホームページ・広報誌「夢がキラキラ」>

学校の活動の様子をホームページや「夢がキラキラ」と題した学校新聞で伝えた。長く続けているので、保護者や地域の方にとっては、なくてはならない存在となっている。



ホームページは、平日は毎日更新しました。大きい行事のときには、400を超える閲覧数となりました。



学校新聞「夢がキラキラ」は、毎年、年間50部ほどを発行しています。地域の方にも配布をしました。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他(クラブの時間)